令和６年度　草津市中心市街地活性化基本計画の最終フォローアップに関する報告

令和 7 年 5 月

草津市（滋賀県）

〇計画期間:平成 31 年 4 月～令和 7 年 3 月(6 年)

Ⅰ．中心市街地全体に係る評価

草津市では、「草津市中心市街地活性化基本計画（第 1 期)」（計画期間：平成 25 年 12 月～平成 31 年 3 月）を、平成 25 年 11 月 29 日に内閣総理大臣の認定を受け、「“元気”と“うるおい”のある生活交流都市の創造」を基本理念に掲げ、活性化事業に取り組んできた結果、店舗の出店数や歩行者通行量の増加など、新たなにぎわいや人の流れが生まれ、中心市街地に活気が出てきたと感じられる一方、事業効果の面的な広がりが不十分であり、特に衰退傾向にある本陣周辺エリアにまで波及しきれていない等の課題が残った。

そのため、引き続き中心市街地の活性化に取り組むため、「草津市中心市街地活性化基本計画（第 2 期)」（計画期間：平成 31 年 4 月～令和 7 年 3 月）を平成 31 年 3 月 18 日に内閣総理大臣の認定を受け、「ひとが行き交い　ひとが集い　にぎわいと交流が広がる健幸なまち」を目指す中心市街地像とし、中心市街地活性化協議会、草津まちづくり株式会社、商工会議所、行政を中心に、官民一体となって活性化事業に取り組んできた。なお、当該計画については、令和 5 年度に計画期間を 1 年延長し、令和 7 年 3 月までとした。

1. 計画期間終了後(令和 7 年 3 月 31 日時点)の中心市街地の概況

第 2 期計画期間中は、老朽化する公共施設や新たな空間づくりなどのハード整備と、活動する人を支えるソフト事業を官民連携によって取り組んだ。計画に定めた目標指標は概ね達成することができ、結果として都市のもつポテンシャルを最大限に発揮したまちづくりを実現することができた。

また、令和 6 年度は、草津駅前の賑わい創出に力を入れ、草津駅東口ペデストリアンデッキでの社会実験の実施や、本陣エリアの新たな拠点整備として旧山内邸の整備、また次期計画にあたる「草津駅周辺エリア未来ビジョン」の策定を行った。

中心市街地エリアは、第 2 期計画期間を経て益々活気が生まれ、平成３０年度に比べると、人口および地価は増加・上昇し、「歩行者通行量（休日)」、「健幸・観光・交流施設の利用者数」、「営業店舗数」ともに基準値を上回る結果となった。期間中は新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響で多くの賑わいを創出するソフト事業が中止、縮小となったものの、コロナ渦を乗り越え、特に「健幸・観光・交流施設の利用者数」については、「くさつシティアリーナ（YMIT アリーナ)」や「市民総合交流センター（キラリエ草津)」、「市立プール（インフロニア草津アクアティクスセンター)」の整備により、目標ラインを大きく上回る結果となり、「ひとが行き交い　ひとが集い　にぎわいと交流が広がる健幸なまち」という中心市街地像の実現につながった。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】　（基準日：毎年度 12 月 31 日）

(1)居住人口

単位：人

（中心市街地区域）	平成 30 年度 (計画前年度)	令和元年度 （1 年目）	令和 2 年度 （2年目）	令和 3 年度 （3年目）	令和 4 年度 （4年目）	令和 5 年度 （5年目）	令和 6 年度 (6 年目)
人口	23,670	23,832	24,210	24,360	24,355	24,756	24,749
人口増減数	224	162	378	150	-5	401	-7
自然増減数	84	50	49	21	-6	0	-15
社会増減数	168	149	335	291	130	351	86
転入者数	1,547	1,443	1,654	1,478	1,491	1,745	1,562

※社会増減数に職権修正等は含まれていないため、自然増減数との合計は人口増減数と一致しない。

(2)地価

単位：円／㎡

	平成 30 年度 (計画前年度)	令和元年度 （1 年目）	令和 2 年度 （2年目）	令和 3 年度 （3年目）	令和 4 年度 （4年目）	令和 5 年度 （5年目）	令和6年度 （6年目）
西大路町 6－6 （商業地）	253,000	265,000	270,000	274,000	279,000	286,000	295,000
大路 2－5－17 （商業地）	96,800	99,200	99,200	99,500	101,000	103,000	106,000
大路 1－18－32 （商業地）	130,000	136,000	138,000	138,000	139,000	143,000	148,000
大路 2－10－15 （商業地）	135,000	141,000	144,000	146,000	149,000	152,000	159,000
草津 3－14－33 （商業地）	112,000	117,000	119,000	122,000	125,000	128,000	132,000
大路 1－10－1 （商業地）	－	－	408,000	408,000	418,000	428,000	443,000

2．計画した事業等は予定通り進捗・完了したか。また、中心市街地は活性化したか。（個別指標ごとではなく中心市街地の状況を総合的に判断）

【進捗・完了状況】

[①概ね予定通り進捗・完了した。]　②予定通り進捗・完了しなかった

【活性化状況】

[①　活性化した]　②若干活性化した　③計画策定時と変化なし　④計画策定時より悪化

3．進捗状況及び活性化状況の詳細とその理由（2．における選択肢の理由）

計画していた事業は主要事業を中心に概ね順調に進捗、完了した。

各種事業に取り組むことにより、草津駅周辺に残された大規模な低未利用地を活用し、老朽化した公共施設の集約化と、公園などのうるおいある公共空間の整備を、官民が連

携して行うことにより、駅周辺の都市機能の更新を進め、都市の魅力を高めることができた。
　また、公共空間を活用したイベント等が、日常的に実施されるなど、ハード、ソフトの両面から、まちなかの賑わいの創出へつなげることができた。
　まちなかの地価は上昇しており、ハード事業およびソフト事業の効果が現れているものと考えられる。

4．中心市街地活性化基本計画の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

【活性化状況】

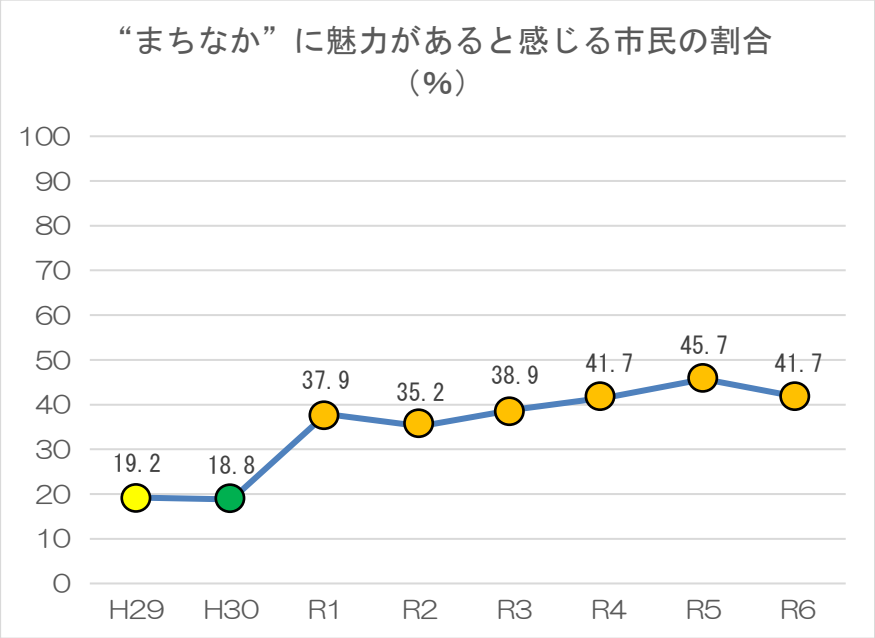
① 活性化した　②若干活性化した　③計画策定時と変化なし　④計画策定時より悪化

　草津駅周辺に残された大規模な低未利用地を活用し、老朽化した公共施設の集約化と、公園などのうるおいある公共空間の整備を官民が連携して行うことにより、駅周辺の都市機能の更新を進め、都市の魅力を高めることができた。
　また、公共空間を活用したイベントなどが、日常的に実装されるなど、ハード、ソフトの両面から、まちなかの賑わいの創出に繋がっている。
　各指標をみると、「歩行者通行量（休日）」のみ目標値に届かなかったが、これは近年の酷暑の影響と考えられる。計画期間中は、公共施設の整備や、日常の賑わいを創出するイベント等のソフト事業が活発におこなわれ、「歩行者通行量（休日）」の測定時期とは異なる春季・秋季においては歩行者通行量が増加していると実感しており、まちなかの回遊性は高まっていると認められる。
　加えて、土地の価値も年々上がっており、これは中心市街地活性化に向けた取組の結果と考えられる。

５．市民意識の変化

【活性化状況】

① 活性化した　②若干活性化した　③計画策定時と変化なし　④計画策定時より悪化



年	（%）
H29	19.2 （基準年値）
H30	18.8
R1	37.9
R2	35.2
R3	38.9
R4	41.7
R5	45.7
R6	41.7

令和６年度草津市のまちづくりについての市民意識調査
調査日：令和６年１０月１日から１０月２１日まで
調査方法：郵送およびインターネット
有効サンプル数：７９５件

計画期間前後で、「“まちなか”に魅力がある」と感じる市民の割合が基準年より 22.5 ポイント上昇した。草津川跡地公園などのまちなかの公共空間を活用した多彩なイベントの開催や、「市民総合交流センター」や「くさつシティアリーナ（YMIT アリーナ）、「市立プール（インフロニア草津アクアティクスセンター）」の整備が評価されたと考えられる。また、営業店舗数の増加も一因と考えられる。

６．今後の取組

今後は、これまで整備してきた施設やまちなかにある公共空間をいかに使いこなすかということに着目し、官民が一体となってまちの賑わい創出に取り組む他、中心市街地活性化基本計画の次期計画となる「草津駅周辺エリア未来ビジョン」のめざす将来像の実現に向けた取り組みを令和７年度から１０年間かけて実施していく。

Ⅱ．目標ごとのフォローアップ結果

1. 各目標の達成状況

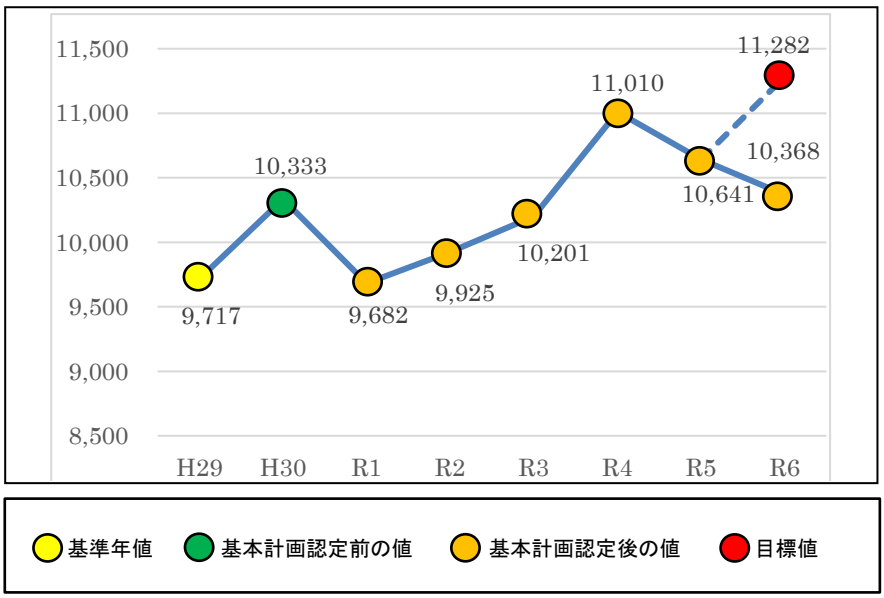
目標	目標指標	基準値	目標値	基準値から目標値までの幅の８割ライン	最新値		達成状況
					（数値）	（年月）	
歴史と景観を活かした“ひとが行き交うまち”（回遊性の向上）	歩行者通行量（休日）	9,717 人／日（H29）	11,282 人／日（R6）	10,969 人／日	10,368 人／日	R6.8	B2
「健幸づくり」を核として“ひとが集い交流するまち”（集客力の向上）	健幸・観光・交流施設の利用者数	371,077 人／年（H29）	592,427 人／年（R6）	548,157 人／年	785,673 人／年	R7.3	A
魅力ある店舗がつながる“にぎわいが広がるまち”（エリア経済の進展）	営業店舗数	692 店舗（H29）	735 店舗（R6）	726 店舗	745 店舗	R7.3	A

＜基準値からの改善状況＞
Ａ：目標達成（関連する事業等は概ね予定どおり進捗・完了）
ａ：目標達成（関連する事業等は予定どおり進捗・完了しなかった）
Ｂ１：基準値から目標値までの幅の８割ラインを超えている（関連する事業等は概ね予定どおり進捗・完了）
ｂ１：基準値から目標値までの幅の８割ラインを超えている（関連する事業等は予定どおり進捗・完了しなかった）
Ｂ２：基準値より改善しているが、基準値から目標値までの幅の８割ラインには及ばない（関連する事業等は概ね予定どおり進捗・完了）
ｂ２：基準値より改善しているが、基準値から目標値までの幅の８割ラインには及ばない（関連する事業等は予定どおり進捗・完了しなかった）
Ｃ：基準値に及ばない（関連する事業等は概ね予定どおり進捗・完了）
ｃ：基準値に及ばない（関連する事業等は予定どおり進捗・完了しなかった）

2. 目標指標ごとのフォローアップ結果

（1）「歩行者通行量（休日）」※目標設定の考え方認定基本計画 P.78～P.84 参照

●調査結果と分析



年	（人／日）
H29	9,717（基準年値）
H30	10,333
R1	9,682
R2	9,925
R3	10,201
R4	11,010
R5	10,641
R6	10,368
目標値	11,282

※調査方法：毎年８月の休日１０～２０時の歩行者通行量を、中心市街地エリア内の

主要８地点において計測
※調 査 月：令和６年８月
※調査主体：草津市
※調査対象：中心市街地エリア内の主要８地点における、
休日の１０～２０時の歩行者通行量

＜分析内容＞

「歩行者通行量（休日）」の増加に向けた各事業については、概ね予定通り完了した。

令和６年度の歩行者通行量調査の際、雨が降ったことから全体的に歩行者数が令和５年度よりも少なくなっている。平成３０年度と比較すると、草津駅から「de 愛ひろば」へ向かう道路の歩行者通行量の増加（地点①）、また、草津駅から「市民総合交流センター（キラリエ草津）」までのエリアの歩行者通行量の増加（地点③）がみられた。基準値から目標値までの幅の８割ラインである 10,969 人/日を下回ったものの、雨や近年の夏の暑さによる歩行者通行量の減少の影響と考えており、「de 愛ひろば」でのイベントの開催や「市民総合交流センター（キラリエ草津）」の整備等、賑わいを創出する各種事業が、歩行者通行量の増加に寄与したものと考えている。

●調査地点図

（単位：人）

	平成30年度 (計画前年度)	令和元年度 (1年目)	令和2年度 (2年目)	令和3年度 (3年目)	令和4年度 (4年目)	令和5年度 (5年目)	令和6年度 (6年目)
地点①	2,020	1,920	2,180	1,902	2,191	2,681	2,272
地点②	2,559	2,365	2,230	2,318	2,096	2,238	2,069
地点③	1,235	1,284	1,131	1,562	1,894	1,488	1,984
地点④	1,274	1,277	1,239	1,573	1,458	1,563	1,368
地点⑤	1,301	949	959	893	1,142	947	1,126
地点⑥	1,039	841	1,051	867	987	1,008	755
地点⑦	488	363	707	564	603	256	381
地点⑧	417	683	428	522	639	460	413
合　計	10,333	9,682	9,925	10,201	11,010	10,641	10,368

●目標達成に寄与する主要事業の計画終了後の状況及び事業効果

①. くさつ夢本陣前スペース活用事業（草津市観光物産協会）

事業実施期間	令和元年度～令和6年度【実施中】
事業概要	くさつ夢本陣前のスペースで定期的なイベント実施など活用を図る事業を実施し、にぎわいを創出する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	事業目標値:19人／日の増加　最新値:4人／日の増加（目標未達成）
達成したまたはしなかった理由	当該スペースを活用したイベントは継続的に行ってきたが、開催日の天候に恵まれず、最新値は目標を達成することができなかった。天候に恵まれた令和5年度は目標値を達成している。（22人／日の増加）
計画終了後の状況及び事業効果	継続してイベント実施などによるスペース活用を行っている。イベントはこれまで休日に行われることが多かったが、平日の昼間にもイベントを行うようになり、平日昼間の歩行者増加に繋がることを期待している。
事業の今後について	今後も観光物産協会や草津まちづくり株式会社を中心にイベントを実施していくとともに、民間事業者にもスペースの活用を呼び掛けるなど活用の促進を図っていく。

②. 中心市街地公共空間賑わい創出事業（草津市、草津まちづくり株式会社）

事業実施期間	平成29年度～令和6年度【実施中】
事業概要	中心市街地エリア内の公共空間において、都市再生推進法人で

	ある草津まちづくり株式会社と行政が連携し、にぎわい創出イベントなどを行うことで、他の民間事業者にも公共空間の有効活用を促し、公共空間ににぎわいを創出する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業(総務省)(令和元年度～令和 6 年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値:78 人／日の増加　最新値:377 人／日の減少(目標未達成)
達成したまたはしなかった理由	継続してイベントなどを行ってきたが、最終年度は、より日常的なまちなかの賑わいを目指して、従来に比べて小規模のイベントを多く行った結果、イベント1回あたりの来場者数は減少し、指標の増加に繋がらなかった。大きい規模のイベントを行った令和 5 年度は目標値を達成している。(569 人／日の増加)
計画終了後の状況及び事業効果	de 愛ひろばや夢本陣などで定期的にイベントを実施している。地域住民がまちに出て、まちと関わるという流れが出来つつあり、まちなかの歩行者通行量の増加に繋がることを期待している。
事業の今後について	今後も中心市街地内の広場や公共空間において、イベントを実施していくとともに、イベントを通して、公共空間の活用事例を例示することで、イベント開催が民間事業者に波及していくように努めていく。

③. くさつシティアリーナ整備事業 (草津市)

事業実施期間	平成 24 年度～平成 30 年度【済】
事業概要	プロスポーツの試合や各種イベントの開催など多用途に利用でき、子どもから大人まで誰もが気軽に利用し、交流を育むことができる体育施設として整備する。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業(草津駅周辺地区))(国土交通省)(平成 27 年度～平成 30 年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値:153 人／日の増加　最新値:381 人／日の増加(目標達成)
達成したまたはしなかった理由	当該事業は計画どおりに進捗し、令和元年 6 月に供用を開始した。プロスポーツの試合や各種イベントの開催を行ってきたことに加え、最終年度は国スポ・障スポのプレ大会が行われたため、最新値は目標値を大きく上回った。
計画終了後の状況及び事業効果	共用開始から 5 年ほどが経ち、スポーツ大会や普段の練習などでの利用が継続的行われ、全国レベルのスポーツ大会も開催され、選手や観客が訪れることで、まちなかの賑わいを創出し、施設周辺の歩行者増加に貢献している。
事業の今後について	整備事業は終了するが、中心市街地のにぎわいの拠点として、体育施設の利用促進を図るとともに、その効果が周辺地域にも波及できるよう、地元住民や商店街などと連携しながら、スポー

	ツ以外にもスポットを当てたソフト事業の実施を検討していく。

④. （仮称）草津市立プール整備事業（草津市）

事業実施期間	令和元年度～令和6年度【済】
事業概要	「スポーツ環境の充実」、「新たなにぎわいの創出」、「スポーツ健康づくりの推進」を実現する拠点施設として、誰もが幅広く利用できる機能を備えたプール施設を整備する。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（草津駅周辺都市機能誘導区域地区））（国土交通省）（令和元年度） 都市構造再編集中支援事業費補助（都市再生整備計画事業（草津駅周辺都市機能誘導区域地区））（国土交通省）（令和 2 年度～令和 5 年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：89 人／日の増加　最新値：115 人／日の増加（目標達成）
達成したまたはしなかった理由	当該事業は計画どおりに進捗し、令和 6 年 8 月に供用を開始した。供用開始以降、日常の市民利用に加えて、国スポ・障スポのプレ大会などの大規模水泳大会を実施したため、目標値を達成した。
計画終了後の状況及び事業効果	全国レベルの水泳大会が開催されており、選手や観客が訪れることで、まちなかの賑わいを創出し、施設周辺の歩行者増加に貢献している。
事業の今後について	整備事業は終了するが、中心市街地エリア内の各施設とも連携を図りながら、市立プールを訪れた人の回遊性を高め、まちなかの賑わいに繋げていく。

⑤. 北中西・栄町地区市街地再開発事業（北中西・栄町地区市街地再開発組合）

事業実施期間	平成 26 年度～令和元年度【済】
事業概要	駅前における密集市街地の合理的かつ健全な高度利用と、都市機能の更新を図るため、まちなか居住の推進や駅前にふさわしい市街地再開発事業を実施する。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（北中西・栄町地区市街地再開発事業（第1種））（国土交通省）（平成 26 年度～平成 29 年度） 社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（草津駅周辺地区））（国土交通省】（平成 30 年度） 社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（草津駅周辺都市機能誘導区域地区））（国土交通省）（令和元年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：70 人／日の増加　最新値：70 人／日の増加（目標達成）
達成したまたはしな	当該事業は令和 2 年 2 月に再開発ビルの整備が完了し、住居区

かった理由	画の住宅およびサ高住は完売し、新たな住民を迎え入れることができ、目標値を達成することができた。
計画終了後の状況及び事業効果	公開空地を利用したイベントを継続して実施し、オープンスペースを活用する取組が行われており、まちなかの賑わいを創出し、施設周辺の歩行者増加に貢献している。
事業の今後について	再開発事業は終了するが、中心市街地のにぎわいの拠点として、引き続きオープンスペースにてイベントを実施するなど、人が集まる空間となるよう促進し、その効果が周辺地域にも波及できるよう、施設管理組合や地元住民、商店街などと連携していく。

⑥.（仮称）市民総合交流センター整備事業（草津市、民間事業者）

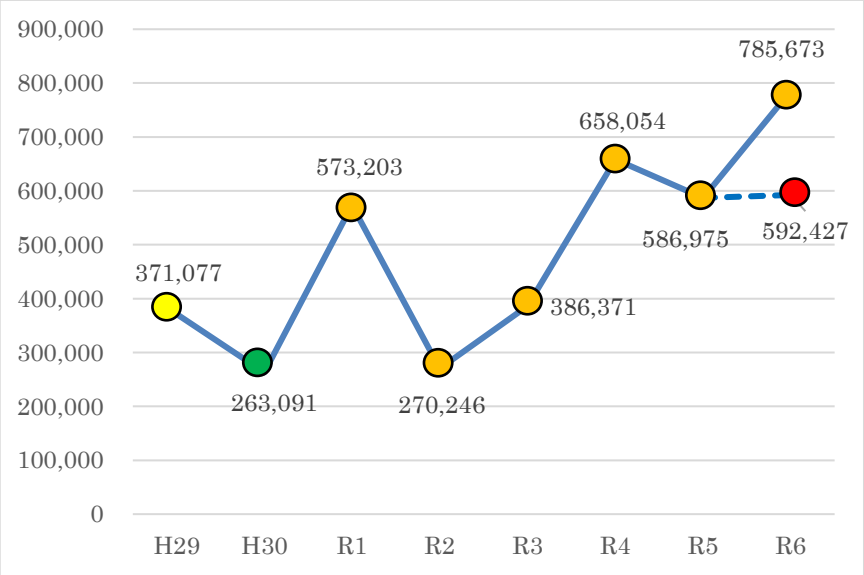
事業実施期間	令和元年度～令和 2 年度【済】
事業概要	老朽化が著しい近隣の公共施設を集積させ、中心市街地に人、モノ、情報が交流する施設整備を進め、交流とにぎわいを創出する。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（草津駅周辺都市機能誘導区域地区））（国土交通省）（令和元年度） 都市構造再編集中支援事業（草津駅周辺都市機能誘導区域地区）（国土交通省）（令和 2 年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：53 人／日の増加　最新値：249 人／日の増加（目標達成）
達成したまたはしなかった理由	該事業は計画どおりに進捗し、令和 3 年 5 月に供用を開始した。公共施設が集積し、貸会議室やスーパーマーケットがあることで、当初の見込みより多くの人が利用し、最新値は目標値を大きく上回った。
計画終了後の状況及び事業効果	プロムナードや会議室を利用したイベントが開催され、多くの人に来場してもらうことで、まちなかの賑わいを創出し、施設周辺の歩行者増加に貢献している。
事業の今後について	整備事業は終了するが、中心市街地のにぎわいの拠点として、引き続きプロムナードにてイベントを実施するなど、人が集まる空間となるよう促進し、その効果が周辺地域にも波及できるよう、施設入居者や地元住民、商店街などと連携していく。

●今後の対策

主要事業は概ね順調に進捗しており、実績を上げてきたが目標達成には至らなかった。調査日が毎年8月で気温や天候により実績が大きく変わることが要因のひとつである。中心市街地のにぎわい拠点を順次整備したことにより、拠点周辺の通行量は増加しているため、その効果をエリア全体に波及させるため、ソフト事業を中心に官民連携した取組を行っていきたい。

(2)「健幸・観光・交流施設の利用者数」※目標設定の考え方認定基本計画 P.86～P.88 参照

●調査結果と分析



年	（人/年）
H29	371,077 （基準年値）
H30	263,091
R1	573,203
R2	270,246
R3	386,371
R4	658,054
R5	586,975
R6	785,673
目標値	592,427

※調査方法：各施設（８施設）の年間利用者数を翌年度４月に集計
※調 査 月：令和７年４月
※調査主体：草津市
※調査対象：中心市街地に位置する健幸・観光・交流施設の利用者数（８施設）
※備　　考：令和３年度より市民総合交流センターの供用開始に伴い、市立まちづくりセンターと人権センターについては、市民総合交流センターの利用者数に集計する。

＜分析内容＞

「中心市街地に位置する健幸・観光・交流施設の利用者数」の増加に向けた各事業については、概ね予定通り完了した。

令和６年度は、「市立プール（インフロニア草津アクアティクスセンター）」の供用開始、また、国スポ・障スポのリハーサル大会開催に伴い、スポーツ関連施設の利用者数が大幅に増大した。なお、草津宿本陣については、耐震工事のため令和6年6月から令和7年3月まで休館していたため、例年より大幅に利用客数が減少している。

なお、第2期計画期間中に「インフロニア草津アクアティクスセンター（市立プール）」、「くさつシティアリーナ（YMIT アリーナ）」、「市民総合交流センター（キラリエ草津）」の整備を行ったことにより公共施設を利用する方が大幅に増大し、まちの賑わい創出につながったと考えられる。

（単位：人）

	平成30年度（計画前年度）	令和元年度（1年目）	令和2年度（2年目）	令和3年度（3年目）	令和4年度（4年目）	令和5年度（5年目）	令和6年度（6年目）
市立まちづくりセンター	133,615	126,194	63,727	－	－	－	－
人権センター	3,389	1,570	1,755	－	－	－	－
市民総合交流センター（キラリエ草津）※1	－	－	－	116,067	201,735	221,102	238,678
野村運動公園（体育館）	19,660	202,043	142,201	188,335	396,003	278,125	357,148
野村運動公園（グラウンド）	54,966	189,667	41,495	54,351	23,671	49,671	73,268
草津宿本陣	17,905	18,075	6,835	10,547	14,893	14,808	4,492
草津宿街道交流館	15,167	15,915	5,619	7,997	10,228	10,861	8,239
くさつ夢本陣	18,389	19,739	8,614	9,074	11,524	12,408	11,800
（仮称）草津市立プール	－	－	－	－	－	－	92,048
合　計	263,091	573,203	270,246	386,371	658,054	586,975	785,673

※1市民総合交流センターの供用開始に伴い、市立まちづくりセンターと人権センターは、市民総合交流センターの利用者数に集計する。

●目標達成に寄与する主要事業の計画終了後の状況及び事業効果

①.（仮称）草津市立プール整備事業（草津市）

事業実施期間	令和元年度～令和6年度【済】
事業概要	「スポーツ環境の充実」、「新たなにぎわいの創出」、「スポーツ健康づくりの推進」を実現する拠点施設として、誰もが幅広く利用できる機能を備えたプール施設を整備する。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（草津駅周辺都市機能誘導区域地区））（国土交通省）（令和元年度） 都市構造再編集中支援事業費補助（都市再生整備計画事業（草津駅周辺都市機能誘導区域地区））【国土交通省】（令和 2 年度～令和6年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：46,000 人／年の増加　最新値：61,365 人／年の増加（目標達成）

達成したまたはしなかった理由	当該事業は計画どおりに進捗し、令和 6 年 8 月に供用を開始した。供用開始以降、日常の市民利用に加えて、国スポ・障スポのプレ大会などの大規模水泳大会を実施したため、目標値を達成した。
計画終了後の状況及び事業効果	水泳大会だけでなく、練習や合宿にも使用されることで利用者数が増加している。大会開催日は駅から市立プールへと向かう人の姿が見られ、歩行者通行量の増加にも貢献している。
事業の今後について	整備事業は終了するが、中心市街地エリア内の各施設とも連携を図りながら、市立プールを訪れた人の回遊性を高め、まちなかの賑わいに繋げていく。

②. 野村スポーツゾーン利活用促進事業（草津市、関係団体）

事業実施期間	令和元年度～【実施中】
事業概要	くさつシティアリーナや（仮称）草津市立プールの集客拠点としての機能を活かし、スポーツの試合や各種イベントの開催など、誰もが気軽に利用できるスポーツゾーンとして、中心市街地のにぎわいを創出する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：6,960 人／年の増加　最新値：50,000 人／年の増加（目標達成）
達成したまたはしなかった理由	野村運動公園グラウンドで食に関するイベントを行うなど、スポーツ以外のイベントも行うことで、目標値を達成することができた。
計画終了後の状況及び事業効果	野村運動公園グラウンドを中心に、スポーツ競技以外のイベントが引き続き行われている。スポーツ以外の客層を対象とすることで、より多くの人に利用してもらうことができ、利用者増加に繋がった。
事業の今後について	くさつシティアリーナにへのコンベンション誘致の検討など、スポーツ競技以外のイベントに活用できるよう、引き続き事業を継続していく。

③. くさつシティアリーナ整備事業（草津市）

事業実施期間	平成 24 年度～平成 30 年度【済】
事業概要	プロスポーツの試合や各種イベントの開催など多用途に利用でき、子どもから大人まで誰もが気軽に利用し、交流を育むことができる体育施設として整備する。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（草津駅周辺地区））（国土交通省）（平成 27 年度～平成 30 年度）
事業目標値・最新値	事業目標値：121,683 人／年の増加

及び進捗状況	最新値:298,831 人／年の増加（目標達成）
達成したまたはしなかった理由	当該事業は計画どおりに進捗し、令和元年 6 月に供用を開始した。プロスポーツの試合や各種イベントの開催を行ってきたことに加え、最終年度は国スポ・障スポのプレ大会が行われたため、最新値は目標値を大きく上回った。
計画終了後の状況及び事業効果	共用開始から 5 年ほどが経ち、スポーツ大会や普段の練習などでの利用が継続的行われ、全国レベルのスポーツ大会も開催され、利用者が増加しており、まちなかの賑わい創出に貢献している。
事業の今後について	整備事業は終了するが、中心市街地のにぎわいの拠点として、体育施設の利用促進を図るとともに、その効果が周辺地域にも波及できるよう、地元住民や商店街などと連携しながら、スポーツ以外にもスポットを当てたソフト事業の実施を検討していく。

④. くさつ夢本陣前スペース活用事業（草津市観光物産協会）

事業実施期間	令和元年度～【実施中】
事業概要	くさつ夢本陣前のスペースで定期的なイベント実施など活用を図る事業を実施し、にぎわいを創出する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値:3,402 人／年の増加　最新値:146 人／年（目標未達成）
達成したまたはしなかった理由	毎週末のイベント開催を目標としていたが、最終年度は年間 6 回の実施に留まっており、目標値を達成することができなかった。
計画終了後の状況及び事業効果	継続的にイベントを実施し、地域住民がまちに出て、まちと関わるという流れが出来つつあり、利用者が増加しており、まちなかの賑わい創出しに貢献している。
事業の今後について	今後も観光物産協会や草津まちづくり株式会社を中心にイベントを実施していくとともに、民間事業者にもスペースの活用を呼び掛けるなど活用を促進し、新しい住民と古くからの住民との交流の場の形成を図っていく。

⑤. 史跡草津宿本陣保存整備事業（草津市）

事業実施期間	平成元年度～【実施中】
事業概要	全国的にみても文化財的価値を持ち、歴史遺産として国史跡に指定されている草津宿本陣の保存活用計画等を策定するとともに、公開施設の耐震補強などの施設維持のための工事を行い、史跡の保存と活用の両立を行う。
国の支援措置名及	史跡等保存活用計画等策定（文化庁）（令和元年度）

び支援期間	歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業（文化庁）（令和元年度～令和 6 年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：1,805 人／年の増加 最新値：13,558 人／年の減少（目標未達成）
達成したまたはしなかった理由	令和 6 年 6 月から翌年 3 月まで、施設の耐震工事に伴い休館していたことから、施設利用者数が例年よりも大幅に減少した。
計画終了後の状況及び事業効果	耐震補強工事を終え、令和 7 年 4 月にリニューアルオープンした。本陣内を会議で利用する試みなどを行い、史跡活用の新たな可能性を模索しながら、まちなかの賑わい創出に貢献している。
事業の今後について	草津宿本陣の保存と活用の両立を継続して推進し、中心市街地のにぎわいの拠点として、文化資源・観光資源として活用し、その効果が周辺地域にも波及できるよう、地元住民や商店街などと連携していく。

⑥．（仮称）市民総合交流センター整備事業（草津市、民間事業者）

事業実施期間	令和元年度～令和 2 年度【済】
事業概要	老朽化が著しい近隣の公共施設を集積させ、中心市街地に人、モノ、情報が交流する施設整備を進め、交流とにぎわいを創出する。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（草津駅周辺都市機能誘導区域地区））【国土交通省】（令和元年度） 都市構造再編集中支援事業（草津駅周辺都市機能誘導区域地区）（国土交通省）（令和 2 年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：40,000 人／年の増加 最新値：238,678 人／年の増加（目標達成）
達成したまたはしなかった理由	当該事業は計画どおりに進捗し、令和 3 年 5 月に供用を開始した。公共施設が集積し、貸会議室やスーパーマーケットがあることで、当初の見込みより多くの人が利用し、最新値は目標値を大きく上回った。
計画終了後の状況及び事業効果	プロムナードや会議室を利用したイベントが開催され、多くの人に来場してもらうことで、利用者の増加に繋がっている。
事業の今後について	整備事業は終了するが、中心市街地のにぎわいの拠点として、引き続きプロムナードにてイベントを実施するなど、人が集まる空間となるよう促進し、その効果が周辺地域にも波及できるよう、施設入居者や地元住民、商店街などと連携していく。

⑦．健幸づくり交流事業（草津市、関係団体）

事業実施期間	令和 3 年度～【実施中】

事業概要	市民総合交流センターにおいて、市内事業所の合同特定健診の開催や、健康機器の設置による日常的な健康測定など、年間を通じた健幸づくりと市民交流を促進する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：1,500 人／年の増加 最新値：1,500 人／年の増加（目標達成）
達成したまたはしなかった理由	市民総合交流センターの会議室において、民間企業の健康診断を実施するなどの健康に寄与した利用が行われており、目標値を達成した。
計画終了後の状況及び事業効果	会議室での民間企業の健康診断は継続して行われている。健康以外のテーマも含めて、プロムナードや会議室を利用したイベントは開催されており、市民交流の場となり、利用者の増加に繋がっている。
事業の今後について	中心市街地のにぎわいの拠点として、市民交流の場となるよう、プロムナードにてイベントを実施するなど、人が集まる空間となるよう促進し、その効果が周辺地域にも波及できるよう、施設入居者や地元住民、商店街などと連携していく。また、草津市立プールやくさつシティアリーナも活用し、健幸づくりの促進を進めていく。

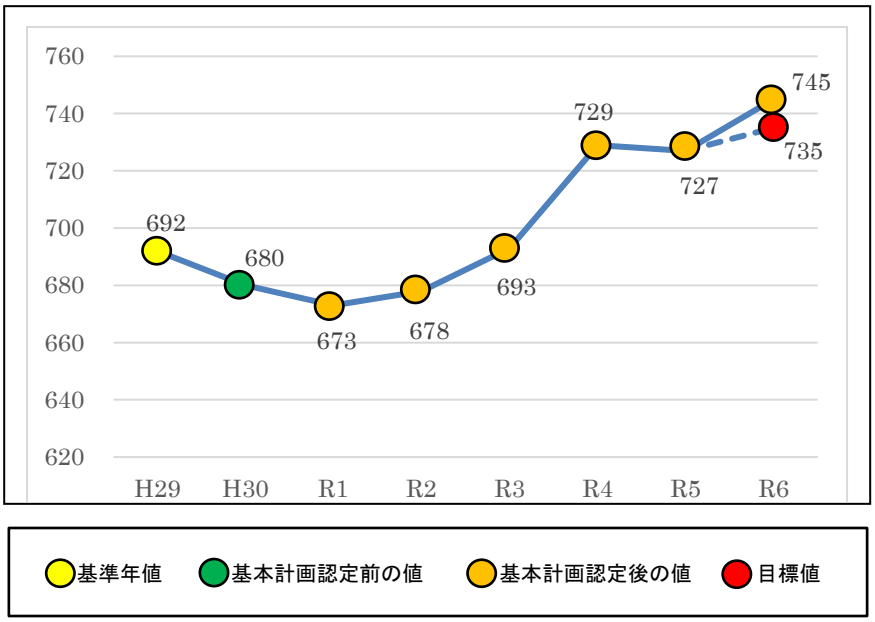
●今後の対策

主要事業は概ね順調に進捗し、目標を大幅に上回る結果となった。

今後は、これまで整備してきた施設をいかに使いこなすかという観点から施設の利活用方法について官民が連携して取り組んでいきたい。また、各施設のサービスの改善・向上と合わせて、これまで以上に、顧客分析、情報発信に取り組み、施設の集客力アップに努めていきたい。

(3)「営業店舗数」※目標設定の考え方認定基本計画 P.89～P.90 参照

●調査結果と分析



年	（店舗）
H29	692 （基準年値）
H30	680
R1	673
R2	678
R3	693
R4	729
R5	727
R6	745
目標値	735

※調査方法：現場確認による営業店舗調査を毎年１０～１２月に実施
※調 査 月：令和６年１２月
※調査主体：草津市
※調査対象：中心市街地における営業店舗

＜分析内容＞

「営業店舗数」の増加に向けた各事業については、概ね予定通りに完了した。

新型コロナウイルス感染症の影響で、一時は店舗数が減少していたが、日常を取り戻す中で新規出店が増加し、目標値を達成することができた。市街地再開発ビルや市民総合交流センターのテナントに商業店が入居したことや、魅力店舗誘致事業による改修費の一部補助を取り入れた新規出店が行われたことは、目標達成に繋がった要因と考えている。

衰退傾向にあった本陣エリアにおいては、「東海道・宿場町テナントミックス事業」や「草津小市」などの事業効果により、店舗数を増加させることができたことは、大きな成果だと考えている。

（単位：店舗）

	平成30年度 (計画前年度)	令和元年度 (1年目)	令和２年度 (2年目)	令和３年度 (3年目)	令和４年度 (4年目)	令和５年度 (5年目)	令和６年度 (6年目)
駅西エリア	200	193	191	191	208	202	206
駅東エリア	355	363	372	382	392	396	410
本陣エリア	125	117	115	120	129	129	129
合　計	680	673	678	693	729	727	745

●目標達成に寄与する主要事業の計画終了後の状況及び事業効果

①. 北中西・栄町地区市街地再開発事業（北中西・栄町地区市街地再開発組合）

事業実施期間	平成 26 年度～令和元年度【済】
事業概要	駅前における密集市街地の合理的かつ健全な高度利用と、都市機能の更新を図るため、まちなか居住の推進や駅前にふさわしい市街地再開発事業を実施する。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（北中西・栄町地区市街地再開発事業（第1種））（国土交通省）（平成 26 年度～平成 29 年度） 社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（草津駅周辺地区））（国土交通省）（平成 30 年度） 社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（草津駅周辺都市機能誘導区域地区））（国土交通省）（令和元年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：25 店舗増 最新値：25 店舗増（目標達成）
達成したまたはしなかった理由	当該事業は令和 2 年 2 月に再開発ビルの整備が完了し、テナント区画に計画どおり店舗を配置することができた。
計画終了後の状況及び事業効果	再開発ビルが完成し、テナントに飲食店が集積することで、駅前の新たな拠点となっている。店舗数の増加に貢献するとともに、にぎわい拠点として周辺の歩行者通行量の増加にも繋がっている。
事業の今後について	再開発事業は終了するが、中心市街地のにぎわいの拠点として、引き続きオープンスペースにてイベントを実施するなど、人が集まる空間となるよう促進し、その効果が周辺地域にも波及できるよう、施設管理組合や地元住民、商店街などと連携していく。

②. 魅力店舗誘致事業（草津市、草津まちづくり株式会社、中心市街地活性化協議会）

事業実施期間	平成 25 年度～令和 6 年度【実施中】
事業概要	商店街の空き店舗、空き家などに出店を希望する事業者に対して、周辺の顧客ニーズや店舗内容などをもとに中心市街地活性化協議会が審査を行い、認定された事業者に出店に伴う改修費などの一部を補助することで、出店を促進する。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（草津駅周辺都市機能誘導区域地区））（国土交通省）（令和元年度） 都市構造再編集中支援事業（草津駅周辺都市機能誘導区域地区）（国土交通省）（令和 2 年度～令和 6 年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：計画期間中 5 店舗の増加 最新値：計画期間中 4 店舗の増加（目標未達成）
達成したまたはしなかった理由	出店等に関する相談や問い合わせはあったものの、条件が合わず補助金を活用した事業実施には至らなかった事案もあり、目標は達成できなかった。

計画終了後の状況及び事業効果	商店街の空き店舗、空き家などを活用し、個性的で魅力ある店舗が入ったことにより、商店街の人どおりが増加し活気が出てきている。事業を活用し誘致した店舗の周辺に、新たな店舗が出店されるケースもあり、好循環が生まれつつある。
事業の今後について	今後も情報発信の手法を工夫するなど、新規出店を検討している事業者に積極的に周知することで活用促進を図っていく。

③.（仮称）市民総合交流センタープロムナード利活用促進事業（草津市、民間事業者）

事業実施期間	令和 3 年度～【実施中】
事業概要	市民総合交流センターの公共空間地において、民間を主体としたイベントなどを実施することで、店舗誘致に繋げる。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値:3 店舗増 最新値:店舗増なし(目標未達成)
達成したまたはしなかった理由	プロムナードにおいてマルシェなどのイベントは開催されており、出店者も多数いるが、中心市街地エリア内への出店までは至っていない。
計画終了後の状況及び事業効果	プロムナードを利用したイベントが開催され、多くの人に来場してもらうことで、施設利用者の増加に繋がっており、交流の場としても機能している。イベント出店者は中心市街地エリア内の集客力には満足しており、場所や賃料の条件が合えば出店を検討したいという声も聞いている。
事業の今後について	プロムナードの利活用を継続し、イベントなどの実施をとおして、出店者に中心市街地エリアの魅力を発信し、出店を促していく。

④. 東海道・草津宿テナントミックス事業（草津まちづくり株式会社）

事業実施期間	平成 27 年度～【実施中】
事業概要	本陣エリアにおいて、利活用の可能性がある空き家・空き店舗を、顧客ニーズや利用者層等から必要な商業機能を分析し、テナントミックス事業として戦略的に商業店舗を誘致する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし。
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値:計画期間中 3 店舗増 最新値:計画期間中 2 店舗増(目標未達成)
達成したまたはしなかった理由	草津まちづくり株式会社には、相談や問い合わせがあったが、条件が合わず出店に至らなかったケースも多々あった。空き家・空き店舗の種地が少ないこと、出店には大規模な改装が必要であり、資金面で折り合いが付かないケースもあった。

計画終了後の状況及び事業効果	事業をとおして個性的で魅力ある店舗が開店したことにより、商店街の人どおりが増加し活気が出てきている。事業を活用し誘致した店舗の周辺に、新たな店舗が出店されるケースもあり、好循環が生まれつつある。
事業の今後について	引き続き、利活用可能な空き家・空き店舗の情報を収集し、新規出店希望者とのマッチングを行うなど、店舗の誘致を進めていく。

⑤. 草津小市（草津まちづくり株式会社）

事業実施期間	平成 29 年度～【実施中】
事業概要	かつて大きなにぎわいを見せていた「草津大市」を現代によみがえらせ、草津宿本陣界隈で「草津小市」としてマルシェやコンサートを実施し、本陣エリアの魅力を発信することで、店舗誘致に繋げる。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：計画期間中 3 店舗増 最新値：計画期間中 2 店舗増（目標未達成）
達成したまたはしなかった理由	事業をとおしてエリアの魅力を発信し、マルシェ出店者から草津まちづくり株式会社に、出店の相談や問い合わせがあったが、条件が合わず出店に至らなかったケースも多々あった。
計画終了後の状況及び事業効果	事業をとおしてエリアの魅力を発信してきたおかげで、エリアの魅力に賛同するファンが多くおり、エリア内の物件を継続して探している方もいる。新規出店の候補地としてアピールすることができている。
事業の今後について	継続して開催することでエリアの魅力発信を行い、新規出店者の開拓を行っていく。

⑥. 中心市街地情報発信事業
（中心市街地活性化協議会、草津まちづくり株式会社、草津市）

事業実施期間	平成 26 年度～【実施中】
事業概要	個々の事業者により発信されてきた中心市街地内のイベント、店舗情報などを、草津まちづくり株式会社のホームページやタウン誌などにまとめ、公共施設や店舗などの場所で総合的に発信することで、中心市街地の魅力を伝え、店舗誘致に繋げる。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：計画期間中 2 店舗増 最新値：実績なし（目標未達成）
達成したまたはしな	まちなかの店舗や活動する人を紹介する「まち歩き新聞」を発行

かった理由	し、魅力発信を行ってきたが、店舗誘致に直接影響したかを評価できないため、「実績なし」として目標未達成とした。
計画終了後の状況及び事業効果	「まち歩き新聞」を年 2 回発行し、まちなかのイベントや店舗情報を多くの人に伝えることができ、新規出店を検討している事業者に対しても、まちなかの魅力をアピールすることができ、出店を後押ししたと考えている。
事業の今後について	事業を継続していくことで、まちなかの魅力を市内外に発信し、新規出店を検討している事業者に対して、出店候補地としてアピールしていく。

⑦. 宿場街道景観形成事業（草津市）

事業実施期間	平成 20 年度～令和 6 年度【実施中】
事業概要	東海道・中山道沿いに並ぶ建物・工作物などの修景整備に対して補助を行い、歴史的な魅力を高め、住民が誇りを感じられるまちなみ整備を進めることで、エリアのまちなみに合った店舗の出店につなげる。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（草津駅周辺都市機能誘導区域地区））（国土交通省）（令和元年度） 都市構造再編集中支援事業（草津駅周辺都市機能誘導区域地区）（国土交通省）（令和 2 年度～令和 6 年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：計画期間中 2 店舗増 最新値：計画期間中 1 店舗増（目標未達成）
達成したまたはしなかった理由	修景整備に対して補助を行ってきたが、住宅に対する補助が多く、店舗での活用は少なかった。店舗改装のスケジュールと補助金交付のスケジュールが合わないなどの理由で、活用できなかった事例があった。
計画終了後の状況及び事業効果	事業を進めてきたことで、街道沿いの景観は改善され、エリアの魅力を高めている。
事業の今後について	継続して事業を進めていくことで、より一層の景観形成を推進し、エリアの魅力を向上させることで、新規出店を促していく。

●今後の対策

主要事業は概ね順調に進捗し、目標を達成することができた。更なる新規出店を促していくために、まちなか全体の価値を高め続けていく必要がある。まちなかのエリアごとに、目指すビジョンを明確に持ち、官民が連携した取組を進めていき、エリアごとの魅力に賛同する新規店舗の誘致を行っていきたい。